

まちづくり戦略ビジョン 市民参加事業

別添資料4

「札幌市まちづくり戦略ビジョン」策定に当たっては、市民の皆さんの市政に対する関心やまちづくりへの参加意識を高めるとともに、新たなまちづくりの担い手の育成にもつなげるという観点から、幅広い世代、属性の方々に参加していただけるような、さまざまな市民参加の機会を設けています。

	事業	実施時期	概要	参加者	募集方法
アンケート	市民アンケート	H23.6月	10,000人の市民の皆さんにアンケートを実施し、札幌の魅力や、社会経済情勢の変化に伴う課題への取り組みなど、市民の皆さんの意向を聞きました。	(回答数) 2,723	無作為抽出した10,000人に郵送
	道外アンケート	H23.6月	「外から見た札幌」の視点をビジョンに反映させるため、道外にお住まいの方を対象に、市民アンケートと同様の設問により、インターネットによるアンケートを実施しました。	(回答数) 1,087	ネットアンケート業者へ委託
会議・ワークショップ	将来の札幌を考える 市民会議	H23.7～9月 (計6回開催)	市民の皆さんの目線で、将来の札幌市の目指すべき姿やまちづくりの目標などについて、ワークショップ形式で検討を行いました。会議の成果は、審議会および市長へ報告しています。	市民会議委員 29人	市民アンケートに参加案内を同封 参加希望者から年齢・居住区・性別のバランスを考慮し選任
	さっぽろ1000人 ワールドカフェ	H23.7月	最近全国的にも注目を集めている「ワールドカフェ」という話し合いの手法を用いて、札幌の魅力や将来像について、楽しく気軽に語り合う大規模ワークショップを開催しました。	440人	自由参加
	みんなで作る 「さっぽろ未来カフェ」 プロジェクト	H23.9月～	市民の皆さんが、仲間やグループなどさまざまな集まりで自発的に「札幌の未来を語る場(ワールドカフェ)」を開催し、話し合われた内容を札幌市に報告してもらうことにより、市民意見をビジョン策定の議論に反映させるプロジェクトです。	7団体(10回) 355人	主催団体のエントリーによる自由参加
	テーマ別ワークショップ	H23.10月	「市民アンケート」で重要度の高かった4テーマ(高齢化社会、防災、子ども、環境)について、札幌市の取り組みに対する成果と課題について議論した上で、今後重点を置くべき取り組みを提案しました。 行政評価制度への市民参加の促進を目的とした「市民評価」の取り組みと一体的に実施。	68人	無作為抽出した3,000人に参加案内を送付 参加希望者のうち辞退者を除く全員が参加
	さっぽろ未来カフェ in東京	H24.1月	首都圏在住の札幌関係者(札幌出身者、札幌勤務経験者等)が、「外から見た札幌の魅力」や、札幌が今後どのようなまちを目指すべきかについて、ワールドカフェ形式で意見交換を行いました。	36人	自由参加
	まち「つながる」 ワークショップ	H24.3月	市民一人ひとりと地域やまちのつながり、これからの時代に合った「つながり」の形について、市民とともに考えるワークショップを市内10区で開催しました。	10会場合計 228人	自由参加 地域活動団体等に開催案内を送付
	国際都市さっぽろ ワールドカフェ	H24.6月	国際都市とはどのような都市か、札幌が国際都市を目指す上でのヒントなどについて、外国籍市民と日本人市民と一緒にワールドカフェ形式で語り合いました。 「さっぽろ国際戦略プラン」策定の市民参加事業と一体的に実施。	100人 (外国籍市民36人を含む)	自由参加
子ども参加	子どものまち 「ミニさっぽろ2011」	H23.10月	「ミニさっぽろまちづくりセンター」としてブース出展し、子どもたちが「さっぽろプロデューサー」として、現在のさっぽろのプロフィールシートと、10年後の札幌についてのフレーズを作成しました。	315人	自由参加
	子ども議会	H24.1月	子ども議員の考える「10年後の理想の札幌」についてキャッチフレーズを発表し、市長等と今後のまちづくりなどについて意見交換を行いました。	子ども議員 55人	(子ども議会のテーマに「10年後の理想の札幌」を追加)
	国際交流ワールドカフェ	H24.2月	海外でのホームステイを経験したことのある中学生・高校生が、海外のまちと札幌の比較などを踏まえ、国際都市札幌の未来を考えました。 1/30から2/12まで札幌市内でホームステイしていたアメリカ・ポートランド市のグラント高校の生徒5人も参加し、札幌の中学生・高校生と一緒に語り合いました。	54人+グラント 高校生徒5人	国際交流事業等を行っている学校を通じてホームステイ経験者へ案内
	「児童会館・ミニ児童会館」における子どもの意見聴取	H24.3～5月	未来を担う子どもたちがまちの将来について考え、意見を表明する機会として、札幌市内の児童会館・ミニ児童会館における子ども運営委員会で、10年後の理想の札幌について、「こうあってほしい」と思うまちの姿を話し合い、みんなで考えた「理想のまち」に向けて自分たちで出来ることを検討しました。	1,757人	参加するかどうかを児童会館ごとに子どもたちが決定 結果、全児童会館・ミニ児童会館(173館)で実施

【参加者合計】 7,253人  
(一般 5,067人、子ども 2,186人)